

日の出の国

黒田インターナショナル

黒田 毅

日本はその歴史を異にし、独自近代化を独自システムにおいて与えた稀有な国である。また今日において、独自文明の創造といえる新しい現実の誕生を有する。真実においてこれらは決して世界へ知られていないのである。

西洋の正義が支配する世界へ、極東のルーツにおける自己は、その相違性における新しい視点を世界へ提案できるのである。西洋化と近代化を有する日本は、その対等な対話を提案できるのである。

戦争放棄という特異性は、世界における戦争廃絶への提言を可能とする。

近隣諸国との共有の価値観の育成は、人道性における判断の共有を歴史問題、人権問題において提案できる。

東洋における自由諸国として、自己の独自性と相違性は、その自己システムと共に、決して世界へ知られていないのであり、これらは世界の融和への提案を可能とするものである。

世界との対等な関係は、最も困難な挑戦であるが、その意味と価値は計り知れない。

世界との対話は、最も有用である。それは自己の理解と説明において、新しい関係構築を提案できるのである。

歴史の停滞は、文明の固定化であるから、西洋の支配する世界へ日の出の国が、自己において新しい世界を与えることは可能である。